

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	高砂発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 1日 ~ 2025年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	84	(回答者数) 68
○従業者評価実施期間	2025年 9月 8日 ~ 2025年 9月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちの発達ステージを4つの段階に分け、基礎集団を形成するとともに、発達課題を明確にして効果的な支援を提供できるように努めている。	・「感覚と運動の高次化理論」に基づき、定期的に日常の行動観察及びスクリーニングテストを行っている。 ・行動観察やテスト結果を基に発達課題を明らかにし、根拠のあるグループ編成と支援・療育の提供を行っている。	・職員の専門性向上の為の学びの場の確保と継続。 ・全ての職員が子どもへのアセスメントや必要な支援の見立てを行える体制の構築と育成。
2	・子どもが楽しく参加できる活動や体験プログラムを提供している。	・子ども達が帰宅後、毎日、各グループごとに活動内容や支援内容の振り返りミーティングを行い、その日の子どもたちの参加率、反応などを分析し、活動内容の検討とアップデートを行っている。	・センターに通いたいと思ってもらえるように、子どもが楽しみながら体験や学びができる活動内容の研究とパリエーションを継続して増やしていく。
3	・家庭の状況に配慮した柔軟な送迎バスの運行を行っている。	・共働き世帯に配慮し、センターに通所することが保護者の負担にならないように、保育園、幼稚園と連携した送迎体制を構築している。	・バスの送迎に協力してもらえる保育園や幼稚園の開拓。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育園、幼稚園を併行利用している児童がほとんどだが、一部の高砂発達支援センターだけに通っている子どもは、地域の子どもと交流する機会が作れていない。	・保育園、幼稚園を併行利用している子どもが大多数を占め、日常的に交流の機会を持っている為、センターで交流の機会を作るメリットがあまりない。	・保育園、幼稚園を全く利用せず、センターだけを利用している子どもが一部いることから、まずは近隣の保育園や幼稚園の子ども達に、高砂発達支援センターに来てもらえるようなイベントなどを検討し、地域の子どもとの交流が図れる場を等しく持てるように取り組んでいく。
2			
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	高砂発達支援センター						公表日	2026年 2月 1日	利用児童数	88	回収数	68
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応					
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	59	7	0	2	・室内は十分だが、園庭があると良い。 ・子どもが過ごす部屋は決して広いとは言えない。 ・十分に活動できるスペースがあると思う。	・子どもさんが遊びのびのび過ごしていただけるよう、参加人数とスペースのバランスがとれるように配慮していきます。					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	60	6	0	2	・1人の先生がつきっきりになる場面を考えると人員配置は余裕があるとは言えない。 ・適切な配置数だと思う。	・1クラス10名の子どもさんに対してスタッフを3名を目安に配置するようにしています。 ・役職、有資格者としては管理者、児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員、臨床発達心理士、社会福祉士を配置しています。					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	65	0	0	3	・とてもわかりやすい空間になっていると思います。 ・写真で自分のスペース・場所が分かりやすいと思う。	・構造化などの手法を用いて、子どもさんが理解しやすい、伝わりやすい環境を心掛けています。 ・リュックなどの身支度の場所など、子どもさんが分かりやすい方法をさらに検討していきます。					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	67	1	0	0	・とても清潔で心地よい環境になっていると思う。 ・夏のプールはどのあたりでやっているのか分からなかった。	・子どもさんが安心して清潔に過ごせる環境整備を進めています。					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	56	8	0	4	・発達状況に応じたグループ分けは大人数を預かるセンターだからこそ現実出来る大きな魅力だと感じる。 ・それぞれの特性に応じた支援があると思う。 ・子供のアピールを理解していない思う行動があった。 ・相談したことに対してカバーしていただけるので助かる。	・アセスメントとモニタリングの実施と、保護者や関係機関との連携を通じて理解を深め、各種検査ツールなどを活用しながら客観性と専門性のある支援を提供していきます。					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	56	5	0	7	・支援内容は合っていると思う。						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	62	5	0	1	・担当の先生は子どものことをよく理解した上で計画を作成してくれている。 ・計画の支援内容欄が見づらいためフォーマットの見直しを検討してほしい。 ・とてもよく作成されている。 ・心配や気になることをまとめて記入してくれている。	・当センターは学習面より、主として発達面の育ちのサポートをさせていただく施設ですのでご理解ください。					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	56	7	0	5	・子どもに必要な項目が適切で具体的に設定されていると思う。 ・家庭と支援センターとでは、子どもの遊ぶ環境が異なる為、味方に偏りがあると思う。 ・具体的になってはいるが、計画の際にもう少し提案してもらえるとありがたい。						
適切な支援の提供	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	59	7	0	2	・支援内容に沿った支援が行われていると思う。 ・各日の支援内容が月ごとに決まっている為、一人一人に合っているかはわからない。						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	58	6	0	4	・外出やお散歩がないのは仕方ないが、センター内で身体を動かす時間や機会がもっとあると良い。 ・様々な活動をしてくれている。 ・我が子はルーティン化することが多いので同じ内容でなはないプログラムもやっていただけて助かる。 ・親子セットの参観日にまだ参加した事ないので参加してみたい。						
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	35	7	14	11	・ないが、特に必要性を感じていない。 ・実際そのような機会はないので分かりかねます。 ・連携が取れていないと強く感じる。	・地域の保育園や幼稚園を併行利用している子どもが多い為、特に取り組んでいません。 ・必要に応じて検討を行います。					
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	67	1	0	0	・とても丁寧に説明していただけた。						

	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	65	1	0	2	・わかりやすく示していただいた。	・概ね6か月ごとに保護者と面談を行わせていただき、計画目標や支援結果の報告を行わせていただいている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	44	10	4	10	・研修会は実施されていないが、外部イベントの案内をいただくことがあり、助かっている。 ・よく機会を作ってくれる。嬉しい。 ・参観の後に同じクラスの保護者と情報提供できた。	・現在、当センターでのペアレント・トレーニングの実施は行っていません。 ・区が開催しているペアレント・プログラムの案内をさせていただいている。 ・保護者と職員が情報交換や意見を述べあう、保護者交流会を今年度より実施しています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	56	8	3	1	・連絡帳の小さい欄では園での様子は十分に分からないと感じる。 ・日頃、よく伝えて頂いている。 ・先生と直接話せる機会がもう少しあると良いと思う。	・連絡帳や電話、定期的な面談などを通していくつでもご相談ください。 ・見学も可能ですので、センターに子どもさんの様子を見に来られた際は、お話を聞かせてください。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	53	6	2	7	・半年に1回の面談以外では先生と話す機会は少ない。 ・定期的に短時間でも話せる場があるとありがたい。 ・定期的に行われているが、適切なアドバイスには至っていないと思う。 ・もっと連絡帳や電話で助言してもらいたい。	・連絡帳や電話、定期的な面談などを通していくつでもご相談ください。 ・センターに子どもさんの様子を見に来られたついででもお話を聞かせていただきます。
保護者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	60	2	1	5	・多くの先生から子どもへの愛情を感じられ、安心して預けられている。 ・連絡帳で少しでもしていただいていると思う。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	32	14	5	17	・親子療育はあるが、その他のイベントやきょうだい児支援の必要性は判断できない。 ・土曜の療育では下の子への気遣いもいただき、感謝している。 ・保護者同士の交流の機会をもっと増やしてほしい。 ・保護者会で色々な悩みを聞いたり、話すことができモヤモヤをとることができた。 ・きょうだい児への支援はないと思う。	・今年度より各グループごとに、保護者同士の交流の場として保護者交流会を定期的に開催しています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	56	6	0	6	・すぐ対応していただいている。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	57	9	1	1	・アプリや写真で活動の様子を共有してもらえると保護者の安心に繋がると思う。 ・すぐに情報伝達していただいていると思う。 ・お迎えのバス停で一言二言「今日は～でしたよ」と教えてくださる先生がいて嬉しかった。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	50	6	2	10	・民間施設に比べると情報発信は少ないと感じる。 ・活動の様子がより分かるようSNSの活用など保護者が気軽にアクセスできる形での情報発信をしてほしい。 ・半年に1回のペースで良いので成長しているところ、苦手なところのフィードバックがあると更にいいと思う。 ・定期的に発信されていると思う。	・センターの広報誌である「はじめのいっぽ」の中身の充実、発行間隔の短縮化や、ホームページの更新頻度を上げられるように努めてまいります
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	61	1	0	6	・十分留意されていると思う。	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	45	9	0	14	・すべての説明を受けた記憶はないが特に不便を感じていない。 ・適切に訓練されていると思う。 ・感染症が発生している際にお知らせ等があると良いと思う。	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	43	10	0	15	・適切に訓練されていると思う。 ・送迎中の災害を想定した対策も講じられており、安心した。	
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	57	4	0	7	・十分安全に支援されていると思う。	
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	56	6	0	6	・速やかに連絡をいただいている。 ・少しうつだけでも電話をくれる。	・報告に漏れがあり、申し訳ありませんでした。子どもの細かな変化に気付き、確実に保護者に報告ができるよう努めて参ります。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	60	8	0	0	・毎回送迎バスが到着すると自分から乗り込んで好きな席に座る姿があり、安心して通えていると感じる。 ・とても安心感を持って通所してる。 ・大満足です。いつもありがとうございます。	

満足度	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	58	9	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの特性上、本人から情報は得られないが見学での様子を見る限りセンターに馴染んで過ごせている。</li> <li>・幼稚園のイベントでセンターの欠席が続くと「早くセンター行きたい」と言っています。</li> <li>・毎日とても楽しみにしております。先生たちのおかげだと思う。</li> <li>・保育園より楽しそうです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当センターが子どもさんにとって、楽しく学べる、楽しい経験ができる、可能性が伸ばせる場所になるように努力していきます。</li> </ul>
	29 事業所の支援に満足していますか。	57	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有料でも構ないので預かりの時間を延長してもらえると保護者にとって大きな助けになると思う。</li> <li>・放課後等デイサービスの導入も検討してほしい。</li> <li>・とても満足している。いつもありがとうございます。</li> <li>・色々な経験をさせてもらい、高砂での出来事を話してくれる。</li> <li>・心理士がいれば完璧です！</li> </ul>	

事業所における自己評価結果						
事業所名		高砂発達支援センター				
		公表日 2026年 2月 1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・共有スペースは曜日によって使用グループを決めるなど、安全に利用して頂けるよう配慮しています。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・子どもさん、職員の人数に応じて、センター全体でサポートできるよう職員を配置しております。		・国の指定基準に則り、人員配置をしています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・視覚的に分かりやすい環境づくりを行っています。余計な物を置かないようにし、刺激過多にならないように気付けています。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・定期的な安全点検、毎日の清掃・消毒を通して、センター内の美化に努めています。		・専門業者による清掃なども検討しています。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・必要に応じて子どもが気分転換に別室を利用できるように配慮を行っています。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・職員向けの各種会議や各種調査などをを行い、改善サイクルの維持に努めています。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・保護者向けの定期的なアンケートに実施や、ご意見箱の設置により、サービスの質向上の為の取り組みを進めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・毎日のグループミーティング、人事上の定期的な面談、アンケートなどで意見を吸い上げ、リーダークラスの会議で業務改善の検討を行っています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・令和7年10月に受審し、サービス改善として保護者交流の場を設けました。		・受審結果を基に、サービスの質向上に取り組んでいきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・チューター制度の導入、事業所内研修、法人主催研修、外部研修など研修体制を充実させています。		
児童発達支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・利用している子どもさんの特性や支援計画書を反映させた支援プログラムを作成し、公表を行っています。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・相談支援専門員と連携を図り、子どもさんや保護者の面談を通して得られたニーズを分析し、児童発達支援計画の作成を行っています。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・子どもさんが所属する担当グループ職員も参画する支援検討会議を定期的に開催し、情報の共有や支援の検討を行っています。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・支援検討会議やグループミーティングを通して計画の共有化と支援の統一化を図っています。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・センター内で統一したアセスメントシートを使用し子どもの状況を把握しています。 ・日々の様子や支援の評価についてはケース記録で記録しています。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・各領域ごとに支援内容を整理した個別支援計画を作成し、各領域を意識した支援の提供を行うようにしています。		

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		各月の活動プログラムを担当グループ単位で作成するのと同時に、毎日グループミーティングを行い、プログラムの質の向上に努めています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		活動の振り返りの機会を設け、子どもの児童発達支援計画や実態に応じて、活動内容を変更することで活動内容の固定化されないように配慮しています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・保護者や本人のニーズを踏まえ、発達支援、保護者支援、地域支援を考慮した個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・全体朝礼後に、各グループごとにミーティングを設け、その日の活動内容、職員の役割、子どもさん個々のその日の目標などの確認を行っています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		・子どもさんが自宅に帰られた後、各グループごとにミーティングを行い、その日の活動や職員の動きの振り返り、子どもさんへの支援の評価などを行っています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・児童発達支援計画の支援に基づき、支援を記録し、活動内容や個々の支援に対する検証、評価に繋げています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		・モニタリングでは、子どもと保護者との面談を通して、支援の達成度や満足度等の把握を行い、支援の方向性の確認を行っています。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		・児童発達支援管理責任者や担当職員が出席し、情報の共有を行っています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		・葛飾区内の関係機関との連携や、情報交換会や調整会議などに積極的に参加しています。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		・併行利用している保育園、幼稚園の担当職員にセンターに来ていただきたり、当センター職員が訪問させていただき、見学と情報共有を行っています。 ・子どもさんの成長具合により、併行先と連携しながらセンターの利用日数を調整しています。	
関係機関や保護者との連携	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		・保護者の要望に基づき、就学先の小学校と引き継ぎ会を開催し、情報提供シート（就学支援シート）を作成、活用しています。	
	(28~30は、センターのみ回答)	<input type="radio"/>		・区内の事業所連絡会などを通して地域の事業所と連携を図っています。	・現時点では当センターが中心となる取り組み面が弱く、中核的な機能を発揮できるように準備を進めていきたい。
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>		・地域の事業所の公開療育への参加や、各資格取得、権利擁護などテーマとした研修への参加を促しています。	・職員の質の向上をさらに図っていく為に、情報収集に努め、積極的な参加を促していくたい。
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		・自立支援協議会や協議会が主催する研修へ積極的に参加しています。	
(31は、事業所のみ回答)	(31は、事業所のみ回答)	非該当	非該当	非該当	非該当
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、保育園を併行利用している子どもさんがほとんどであり、日常の中で他の子どもさんとの関りが持てています。</li> <li>・イベントを企画し、近隣の幼稚園や保育園児をセンターに招く機会を作っています。</li> </ul>	
33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の保護者とのやりとりや情報交換などは連絡帳を通して行っており、必要に応じて送迎時、電話連絡、面談等を通して、情報共有を図っています。</li> </ul>	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が子育てについて意見交換や相談できる場として保護者交流会を定期的に開催しています。</li> <li>・区内で開催される保護者向けの研修やペアレン特訓・トレーニングの情報を案内しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当センターで、各種研修やペアレン特訓などを開催できるように準備を進めています。</li> </ul>
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用契約の際に、運営規定（契約書）、重要事項説明書の説明を行っています。また、変更があった場合は、文書にてお伝えしています。</li> </ul>	
36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画作成する前段階として必ず保護者、子どもさんと面談を行い、要望や意向を確認するようにしています。</li> </ul>	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援計画を新規作成した時、見直しを行った時には、保護者へ支援内容と目標の説明を行い、必ず同意をいただくようにしています。</li> </ul>	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳を用いた関係構築を基本とし、電話や見学面談を行った際に子育ての悩みを聞く機会を設けるようにしています。</li> <li>・定期的に保護者交流会を開き、情報交換や悩みを解決できる機会を作るようにしています。</li> </ul>	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子療育や保護者交流会を定期的に開催しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうだい同士で交流する機会は現時点ではありません。ニーズに合わせて検討します。</li> </ul>
40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に相談・苦情受付担当者、解決責任者、第三者委員を設置していることをお伝えしています。また、法人内の窓口だけでなく、葛飾区、東京都が設けている窓口の紹介も行っています。</li> </ul>	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・常盤会便り（法人広報誌）、はじめのいっぽ（当センターのお便り）、ホームページ等を通して、センターの情報を発信しています。</li> </ul>	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報管理規程を整備し、プライバシーの配慮等、職員への周知を図っています。個人情報に関する書類・データ等については鍵付きの棚に保管する等して、取扱いに注意しています。</li> </ul>	
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の理解が難しい子どもさんには、絵・写真カードを用いたり、モデルを示したりと視覚的アプローチを中心に支援を行っています。</li> <li>・保護者の特性、出身国に合わせて、筆談、メールの活用、平仮名・カタカナ・ローマ字表記などを行っています。</li> </ul>	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターに移動水族館が来た際には地域の保育園や幼稚園の子どもを招いたり、季節行事で子どもさん達と地域のお店を通り、地域の人と関わる機会を設けるなどの活動を行っています。</li> </ul>	

	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		・各種マニュアルを整備しており、必要に応じて、見直しを行っております。また、緊急時、感染症対応の訓練や研修を定期的に実施しています。 ・必要なマニュアルは正面入り口付近に設置し、誰でも自由に閲覧できるにしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		・BCPの策定済で、定期的に内容の確認と見直しを行っています。 ・火災を想定した避難訓練は毎月実施しており、他にも地震想定、洪水想定、不審者対策避難訓練などを行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		・保護者とのアセスメント面談や定期的な面談を通して、子どもさんの疾病や服薬状況等を把握しています。	
非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		・定期的にアレルギー会議を開催し、保護者、栄養士、調理業者と連携し、医師の指示書に基づいた食事提供を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・子どもさんが安全にセンターで過ごせるよう、定期的な設備チェック、安全管理に関する研修や訓練を定期的に行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		<input type="radio"/>		・安全計画の保護者への周知に関して不十分である為、周知方法やその内容も含めた検討を行います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		・朝礼時の報告と報告書の確認を行うことで共通理解を図っています。また、法人内の事故防止委員会の取り組みの中で事例を集計、分析し、対応策等を検討し、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		・法人内に人権擁護委員会を設置しています。委員会活動として人権に関する意識調査を職員向けに行うなど、人権を意識したり考える機会を設けることで虐待防止に繋げています。また、外部講師による権利擁護をテーマとした研修も定期的に行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		・該当する子どもさんは現在いません。 ・身体拘束が必要な場合に備えて、要件や手順を定めたマニュアルを作成しています。	